

スコットランドラグビー協会、市民友好都市エディンバラ市訪問報告

この度、ラグビーワールドカップ2019において、長崎市で事前キャンプすることが決定したスコットランドラグビー協会との調印式を行うため英国スコットランドのエディンバラ市を訪問するとともに、市民友好都市との関係強化、交流促進のためアバディーン市を訪問しました。

最初に訪問したアバディーン市は、グラスゴー、エディンバラに続くスコットランド第3の都市で、真夏の長崎に比べ、はるかに涼しい気候であった。

最初に、アバディーン市庁舎でアダム市長を表敬訪問し、水素バスの乗り心地のよさを感じ、水素ステーションも視察した。再生可能エネルギーの実用化に向けた施設の視察であった。そして、グラバーの両親が住んでいたグラバーハウスを視察後、海洋博物館を視察した。入りくんだ港の中に大型船が入っており、その港湾整備に感心した。

アバディーン市長、市議会議員と一緒に昼食後、グレンギリ蒸留所を視察し、アダム市長も同行された。公務多忙の中、歓迎の気持ちの表れであると思う。改めて敬意を表したい。

その後、ラグビーアカデミーを視察し、アバディーン市長主催の夕食会に招待いただいた。

日本、長崎にゆかりの方も多数参加され、市庁舎内の歴史の重みを感じる特別室での有意義な夕食会であった。

翌日、エディンバラにバスで移動。ホテル前で、レッドカーペットとスコットランドラグビー協会のバグパイプによる歓迎を受けた。長崎県ラグビーフットボール協会U15選抜チームの交流試合を観戦。一回り大きい体格の選手と同等に戦った長崎の中学生をたたえたい。

その後、松永大介在エディンバラ日本国総領事に総領事館に夕食会に招かれた。ご厚意により、一部日本食を準備いただいております、ここでも温かい気持ちに感謝したい。

総領事館を後にし、ミリタリータトゥーを視察。ダイナミックな音と光の催しに感激した。

そして、翌日にマレーフィールドで、ラグビーワールドカップ2019の長崎市での事前キャンプ調印式を行った。施設内とトレーニングを見学し、実際に選手の体の大きさを目の当りにした。エディンバラ城の視察の後、ラグビー協会主催のレセプションに招待いただいた。これまでにない歓待を受け、蛍の光を皆で合唱するなどあたたかいおもてなしを受けた。

今回の訪問にあたり、視察の同行や案内などお世話いただいたアバディーン市の職員、スコットランドラグビー協会の職員に感謝したい。ラグビーU15長崎県選抜の子どもたちにはかけがえのない経験となったことだろう。今回、アバディーン市では今後、様々な分野での交流が促進する可能性を感じ、両市の交流促進につながる訪問となった。また、スコットランドラグビー協会との関係も強化することができた。今後様々な交流に発展していくよう、市議会としても取り組んでいきたい。